

6月15日  
No.282

〈人口〉  
男 8,940人  
女 9,074人  
計 18,014人  
世帯数 4,113戸

発行所 麻生町1561-9 麻生町役場  
電話②0811代 麻小沼幸蔵  
印刷所 麻生印刷

- 6月のメモ
- 1日 固定資産税徴収
  - 3日 国保運営委員会
  - 6日 定例町議会
  - 8日 麻生町養蚕協議会総会
  - 9日 麻生町田園都市協会総会
  - 16日 固定資産評価審査委員会
  - 19日 農業改良推進協議会
  - 20日 農業委員会総会
  - 21日 敬老会
  - 28日 例月出納検査
  - 30日 町県民税・国保税・国民年金保険料徴収

54年1月オープン

### 宇崎・白浜台地に 共同宿泊研修施設

## 「少年自然の家」を建設

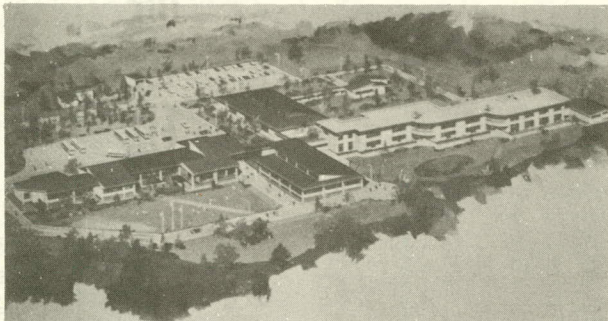
水と緑に恵まれた美しい自然環境の宇崎・白浜台地に、県共同宿泊研修施設として「少年自然の家」が建設されることになり、今、急ピッチで工事が進められています。

これは、昭和五十一年に、青少年の健全育成をはかるための青少年宿泊研修施設を建設する計画を決定、五十二年度には、とりあえず七〇、〇〇〇平方メートルの用地を買収して事業を進めてきたものです。今年度は建物完成することになっており、来年一月にはオープンできる予定です。さらに五十四年度には、七〇、〇〇〇平方メートルの敷地を利用し、野外活動を行うための施設を建設する予定になっています。

「少年自然の家」は、美しい自然の中で少年たちがのびのびと活動しながらお互いの心のふれあいをもち、共同宿泊生活を体験することにより情操を豊かにし、社会性を培うとともに、心身を鍛えることができる教育施設です。皆さんからの有効な利用が期待されています。

**施設の概要**

「少年自然の家」は、敷地の総面積一四〇、〇〇〇平方メートル



少年自然の家の  
完成予想図

いりり三十六個があり、ここで郷土色豊かな手打そばやうどん、けんちん汁をつくって食べたり、餅つきをしたりして、お互いに心のつながりを深めることのできる貴重な研修の場となります。

●創作館（二〇〇平方メートル）  
土・石・竹・木・わらなどのいわゆる自然の素材を生かした創作活動をねらいとしたものです。

## 老人医療費 受給者証を交付します

現在あなたが使用されている老人医療費受給者証（みず色）は、六月三十日で使えなくなり、新しい受給者証と取りかえる手続きをしてください。

①健康保険証  
②老人医療費受給者証  
③医療福祉費受給者証

| 対象地区 | 日            | 時 | 場          | 所 |
|------|--------------|---|------------|---|
| 太田   | 6月27日午前9～11時 |   | 公民館太田分館    |   |
| 大和   | 午後1～3時       |   | 大和分館       |   |
| 小高   | 6月28日午前9～11時 |   | 小高中央公民館    |   |
| 行方   | 午後1～3時       |   | 公民館行方分館    |   |
| 麻生   | 6月29日午前9～11時 |   | 麻生分館(税務署跡) |   |

〔更新の日時〕

③印かん

### 老人とのふれあい

## お年寄りは

## 「生活の知恵袋」

小中高生のみならず、あなたも日ごろ、おじいちゃんやおばあちゃんといっしょに話したことがありますか。多分、学校の勉強やクラブ活動などがいそがしくて、話をする機会が少ないのではありませんか。

町では六月二十一日から二十三日までの三日間、恒例の敬老会を行います。これを機会に、一度じっくりと話をしてみたい人は、近所のお年寄りでもいいでしょう。

なぜ話をすることをすすめるかというと、おじいちゃん、おばあちゃんといふのは、いわば「生活の知恵袋」だからです。いろんなことを知っていますよ。

## 交通遺児貸付けをご利用ください

自動車事故対策センターでは、自動車事故の被害者で生活に困っている方へ生活資金の貸付などを行なっております。そのうち「交通遺児等貸付」については、次のとおりです。どうぞご利用ください。

一、交通遺児等貸付けは

①自動車事故により保護者に亡くなった児童

②自動車事故により保護者が重度後遺障害者となられた児童

がすこやかに育成されるために必要な資金をお貸しする制度です。

二、貸付けの内容

(イ)貸付け対象者 貸付けは児童ご本人に対して行ない

ら選択)による均等払で返還していただきます。

(ハ)返還の猶予 中学校卒業後、高等学校、大学等に進学したときは、それを卒業するまでの期間、返還が猶予されます。

〔善〕  
〔意〕

- 宇崎の千葉勝美さんは、宇崎子供会へ五千元を贈りました。
- 善意銀行へ次の方が預託されました。
- 小高の織沢婦人会は、小高小学校へさうきん百五十五枚
  - 麻生の池永登志雄さんは、新原老人クラブへ一万円。
  - 根小屋の額賀三千三さんは、根小屋長生会へ五千元。
  - 粗毛の花見幸雄さんは、蒲縄老人クラブへ一万円。
  - 麻生の飯島一夫さんは、下淵公民館へ折畳式長卓子十個
  - 新宮の藤崎邦文さんは、大和第一小学校へ竹ぼうき五十本、麻生第一中学校へ竹ぼうき百本。
  - 南の額賀哲雄さんは、大和第一小学校へわとり四羽。
  - 橋門の小牧康照さんは、橋門老人クラブへ一万円。
  - 小高の梅原秀夫さんは、小高朋友老人クラブへ一万円。
  - 小高の渋谷正明さんは、前谷老人クラブへ一万円。
  - 杉平の久保重徳さん、チエさんは、四鹿杉平老人会へ一万円。
  - 四鹿の久保田明さんは、四鹿杉平老人クラブへ一万円。
  - 小高の箕輪一二さんは、前谷老人クラブへ一万円。
  - 井貝の平野一さんは、井貝老人クラブときわ会へ一万円。
  - 岡の箕輪照夫さんは、岡消防団へ五万円。
  - 宇崎の新堀公一さんは、太田小学校へ電気時計一式。
  - 行方の宮内浅衛門さんは、舟子藤井久保老人会へ三千元。

